



開催地農家代表あいさつ：(米須土地改良区 理事長：玉城信榮)

糸満市米須地区の一農家として、事例を報告します。

私の現場は、米須から大度にまたがる63.7haの一等地であります。そこは、米須地下ダムが完備され、農家は地下ダムの恩恵を受け、農家所得の向上はもとより、担い手の確保にもプラスになっています。

この地域には三つのカーがあり、雨季になると氾濫し、畑の土は流され農家は悩まされていました。また、畑から原因不明の水が噴出し困っていましたが、国が水抜き管を入れることにより解消されました。

米須海岸の砂浜はウミガメの産卵場所であり、イノーは子供たちの学習場所として利用されています。またダイビング場所としても利用されているので、汚染されないように空洞ブロックや沈砂池などいろいろな流出防止対策を行っています。

個々農家では、裸地を避けるため、ヒマワリなどの植栽や緑肥を施しています。

あれから四年経ちますが問題は起きていません、国県その他関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

立派に整備米須の農地からは、一滴も流さない気構えで、日々農作業に精進すること表明しまして、農家代表のあいさつとします。